事業所名	ベル・クルール（児童発達支援）	支援プログラム	作成日	令和8 年	2 月	27 日

法人（事業所）理念	合同会社しゃむろっく：愛・希望・信頼を持って子ども達との未来をつくる。 「愛」＝ 承認：ありのままの君でいい、という安心感（一軒家の温もり）。 「希望」＝ 自立：できることを増やし、未来を楽しみにする力（個別支援）。 「信頼」＝ 連携：保護者・地域・職員がワンチームで支える絆（地域交流）。	
	ベル・クルール：愛・希望・信頼。ここが、未来への「はじまりの家」。	
支援方針	専門性の追求	1. 常に子どもの**「強み」**から支援計画を立てることを徹底し、その瞬間を記録・共有する。
	家庭との伴走	2. 保護者面談では、子どもの**発達状態を必ず可視化**して共有し、不安を解消する。
	主体性・達成感	3. 子どもに課題を提示する際は、自己決定の機会（例：課題の順番を選ぶ）を設ける。
	地域連携☒	4. 地域の大人や施設との合同活動を企画し、支援なしで参加できる成功体験を積み重ねる。
営業時間	9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無：（あり） なし ※場合によっては保護者への送迎も依頼している

		支援内容
本人支援	健康・生活	**1健康状態の維持・改善**：①健康状態の把握と対応：健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、子どもの心身の状態をきめ細やかに確認し、平常とは異なった状態を速やかに見つけ出し、必要な対応をする事が重要である。その際、意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインでも心身の異変に気付けるよう、決め細かな観察を行う。②リハビリテーションの実施：日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもが持つ機能をさらに発達させながら、子どもに適した身体的、精神的、社会的支援を行う。 **支援内容：送迎・受け入れ時の視診、検温、発達の過程・特性等に配慮し小さなサインでも心身の異変に気付けるよう、きめ細かな観察を行う。** **2生活習慣や生活リズムの形成**：睡眠・食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身に付けられるように支援する。また、健康な生活の基本となる食の営む力の育成に努めるとともに楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら咀嚼・嚥下の接触機能、姿勢保持、手指の運動機能等の状態に応じた自助具等に関する支援を行う。さらに衣服の調節、室温の調節や換気、病気の予防や安全への配慮を行う。 **支援内容：家庭内訪問、保護者面談、関係機関との連携、利用児童との話し合い等、衣類の調節、室温の調整や換気、病気の予防安全への配慮** **3基本的生活スキルの獲得**：①生活に必要な基本的技能の獲得：子どもが食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、成果鵜の場面における環境の工夫を行いながら、子どもの状態に応じて適切な時期に適切な支援をする。 ②構造化などによる生活環境の調整：生活の中で、様々な遊びを通した学びが促進されるように環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。 **支援内容：排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にする等、手洗い消毒、ハンカチ所時、マスク着用、身だしなみチェック表の取り組み、運動療育・巧緻遊び（微細活動）生活の中で様々な遊びを通した学びが促進できるように環境を整える。時間や空間を本人に分かりやすく構造化する（一日の流れの記入、絵カード作成、時計等）**
	運動・感覚	**1姿勢と運動・動作の基本的技能の向上：日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用：姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する** **支援内容：机、椅子の座り方姿勢保持の指導、筋力の維持強化（戸外遊び、体育館等、運動療法、余暇活動）バランスクッションやボール等の補助具の使用等　筆記用具の補助具の使用** **2身体の移動能力の向上：見学、余暇活動での徒歩移動や運動療育でのマラソン、５分間競争、月に１度のスポーツテストや遊び・ゲーム活動、リズムダンス、シナプソロジー** **3保有する感覚の活用**：五感と固有覚・前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊びなどを通して支援する。**感覚統合遊び等、フラッシュメモリー、模倣遊び等** **4感覚の補助及び代行手段の活用**：発達の状態、段階、興味関心に応じて保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくできるように補助具を使い支援しています。**遊具、筆記用具・計算補助具、微細道具、絵カード、日常生活用品等（ゲーム形式にする）** **５感覚の特性への対応：感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。**
	認知・行動	**1認知の特性についての理解と対応**：一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援する。こだわりや偏食等に対する支援も行う **支援内容：個別・集団活動や学習での困り感や拘りの軽減するための療育支援　食育　おやつ提供等** **2対象や外部環境の適切な認知と行動の習得** **支援内容：事業所での流れを習慣化させ、家庭や学校で取り組めるように療育支援する。外出支援、個別・集団活動で経験を重ねる。** ①感覚の活用や認知機能の発達：視覚・聴覚・触覚を十分に活用して情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行う。 **支援内容：感覚統合遊び、余暇活動等** ②知覚から行動へ認知過程の発達：取得した情報を過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断で行動につなげることができるように支援する **支援内容：１日の流れの習慣化と機能訓練等** ③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成：物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援する **支援内容：個別活動（個別支援）・集団活動（遊び、余暇活動、学習・宿題等、機能訓練等）で関りながらでの支援** **３行動障害への予防及び対応：感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適応障害への対応の支援を行う。**
	言語 コミュニケーション	**1コミュニケーションの基礎的能力の向上**：障害の種別や程度、興味関心等に応じて言葉によるコミュニケーションだけではなく表情や身振り、各種の機器等を用いて医師のやり取りが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けることが出来るように支援する **支援内容：挨拶の習慣化、身支度の準備等の１日の流れの指導・支援、生活習慣指導等** **2言語の受容や表出**：話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援を行う **支援内容：発声練習や大きい声を出せる環境作り、個別、集団活動での模倣遊び・平行遊び、絵カード、タブレット学習（アプリ音声機能付き等）ハンドサイン・ジェスチャーなど** **3言語の形成と活用**：具体的な物事や体験と言葉の意味を結び付けること等により、自発的な発声を促し、体系的な言語を身に付けることができるよう支援する **支援内容：日常的な挨拶の習慣化、絵カードと声に出す模倣・並行遊び、３D・２Dマッチング、リズムダンス、ＳＳＴ（ソーシャルスキルトレーニング）伝承遊び等** **4人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得**：個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う **支援内容：宝探しゲーム、早口言葉遊び、新聞合戦、ビジョントレーニング、身体じゃんけん、ツイスターゲーム** **5コミュニケーション手段の選択と活用**：指差し、身振りサイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達が出来るように支援する・手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように支援する **活動内容：お当番表、利用者カード（名前と顔）、チェックカード、（ＰＣ・タブレット（アプリ）等のＩＣＴ機器を含む）使用** **6状況に応じたコミュニケーション：コミュニケーションを円滑におこなうためには、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握することが重要であることから場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるように支援する。** **指導方法：指導者は子どもの聞き取り際に「どうしたの」と決めつけずに聞くことを意識する。また、観察を怠らない。状況を把握することが必要。** **支援内容：買い物学習、社会科見学、公共交通機関の体験学習、外部講師による歯科講習や救命救急参加、防犯講話等** **７読み書き能力の向上：発達障害のあるこどもなど、障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う**

	人間関係 社会性	**１アタッチメント（愛着）の形成と安定：**こどもが基本的な信頼関係を持つ事ができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行う。自身の感情が崩れたり、不安になった際に大人が相談に乗ることで安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるよう「安心の基地」の役割を果たせるよう支援する **２遊びを通じた社会性の促進：①模倣行動の支援：**遊び等を通じて人の動きを模倣する事により、社会性や対人関係の芽生えを支援する **支援内容：模倣遊び、２Ｄ・３Ｄマッチング等の巧緻遊び（微細活動）戸外遊び、散策等** **②感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援：**感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する **支援内容：感覚統合、感覚・運動遊び、人間間違え探しゲーム、リズムダンス、ごっこ遊び（お店屋さん・ものまね：動物、人まね等）** **③一人遊びから共同遊びへの支援：**周囲の子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したり、ルールを守って遊ぶ共同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する **支援内容：旗上げゲーム、神経衰弱、ネイチャーゲーム、伝承遊び等** **３自己の理解と行動の調整：**大人を介在して自分の出来ることや苦手なこと等、自分の行動の特徴を理解すると共に気持ちの情動の調整ができるように支援する **支援内容：活動の全てにおいて取り組んでもらっている。気持ちの折り合いがつかない時には自らクールダウンできるように家庭や学校と協力し情報を共有しながらの支援を行っている** **４仲間づくりと集団への参加：集団に参加するための手順やルールを理解し、こどもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援する**

家族支援	保護者様宅訪問、面談を随時行っています。 ペアトレーニング・担当者会議、関係機関との連携等 保護者様と一緒に映像を確認しながら利用児童のモニタリング診断	**移行支援**	児童相談所・医療・教育機関・行政・他事業所への情報共有 担当者会議、
地域支援・地域連携	結城市社会福祉協議会　結城市生活支援体制整備事業　第２層協議体 城南元気会に参加し交流を重ねる。　城南地区コミュニティスクール参加 他事業所との交流参加（あすなろ園主催：希望祭に参加）	**職員の質の向上**	内部研修：ジョブメドレーアカデミーにて毎月、研修を実施。 外部研修：茨城県社会福祉協議会・茨城県庁への依頼、結城市役所：事業所連絡会主催研修や委託研修依頼を行う。結城消防署：救命救急講習会開催
主な行事等	外出支援：買い物学習、社会科見学（切符購入・乗車体験、工場見学、博物館見学等）余暇活動（公園、自然体験、遊園地等） 地域社会への参加・包摂（インクルージョン） 制作活動：季節や行事に因んだ制作、模型製作 避難訓練（地震・火災・不審者対応）月に１回実施 イベント行事（初詣、夏祭り、ハロウィン、クリスマス） 保護者会、親子参加型行事　誕生日会　家庭科体験　歯科講習会、救命救急入門コース（胸部圧迫・AED使用方法等）		